

軍極秘

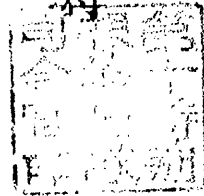
物部功績調査報告書

十特根機密第一三號二四

自昭和十八年一月一日

至同 一月三十一日

四月十日送付



0542

第十特別根據地隊戰時日誌

(作戰及一般部)

役務	所管所屬
作戰部	第一南遣艦隊

目次

一、経過

二、人員、現状

三、令達報告等

四、参考

五、作戦経過概要

(目次終)

0543

自昭和十八年一月一日
至昭和十八年八月五日

第十特別根據地隊戰時日誌

一 経過

一 一般情勢

独ノ戦北何戦ニ於ケル聯合軍ノ成功ニ依リ敵ハ
頹勢ヲ一舉ニ挽回セントシ活動ハ一般ニ活潑トナル
對日戦ニ於テハ潜水艦ニ依ル主トシテ給油船ヲ目標
トスルケリラ戦強化セラレタル感アリ
當隊担任海域ニ於テハ十一月三日ニ於テ載油中、
極洋丸敵潛ノ雷撃ヲ受テ敵潛ノ活動ハ今後
益々熾烈化ヲ豫想セラルルヲ以テ警戒ヲ一層嚴重
トナスヲマレ陸上方面ニ於テハ抗日共産不逞分子、
閩躍アリ部内ヨリモ支那人數名、檢舉アリ特ニ警戒

0544

(四) 戒ヲ嚴ニシ機密保持謀略排除ニ萬全ヲ期シツツアリ
敵軍ノ情勢

(一) 大平洋方面

ソロモン方面ニ亘リ海戦行ハレ大戦果ヲ
收メタルモ未ダ決定的戦勢ノ進展ヲ見ガ

(二) 印度洋方面

ビルマニ對スル反攻態勢ハ一段ノ強化アリシ如クラン
カールニ空襲ハ益々大規模トナリ殆ド連日空襲
アリ被害大ナリ

(三) 任務編成

(一) 任務

(1) 担任海域ノ防備警戒港務

(2) 交通保護

0545

區
分
指
揮
官
兵
力
主
要
任
務

(三) 配 備

(3) 二十六日敷設艇江島ヲ當隊司令官ノ指揮下ニ入
ラル

(2) 自 十一日 至 十九日 第九號 駆逐艇ヲ當隊司令官ノ指揮下
ニ入レル

(1) 十日第七號掃海艇ノ第十一特別根據地隊司令官
ノ指揮ヲ解キ當隊ニ復帰セシメラル

(二) 編 成

- (3) 昭南附近水路ノ泊地掃海
- (4) 南方方面味方通信中樞對敵通信
- (5) 補給治療
- (6) 所在陸軍ト連絡

作战指导

通信隊	港務部	部隊	護衛隊	掃海隊	警戒隊	陸上	警戒隊	海上
第十通信隊司令官								
第十通信隊司令	第十港務部長	各隊(艦)艇) 指揮官			陸上警備科		水上警備科	
第十通信隊	第十港務部	第十號掃海艇	長沙丸	四十四掃海艇	第七號掃海艇	四十四掃海艇		
六對敵通信	一味方通信	港務	直接間接護衛	交通保護	担任海域水路掃海	海軍担任地域防備警戒	二水路警備	一海軍担任海面防備警戒

0547

別表

昭和十八年一月昭南根據地部隊麾下艦船行動

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十
利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一	利第一
昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南	昭南
長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸
昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港	昭南軍港
能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島	能登島
地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地

0548

軍極秘

自昭和十八年三月一日
至昭和十八年三月三十一日

海軍功績調査部長殿

十特根機密第二號ノ六

五月六日



第十特別根據地隊戦時日誌

(作戦及一般之部)

役	所管(所屬)
務	第一南遣艦隊
作	
戦	
部	
隊	



目次

- 一 経過
- 二 人員現狀
- 三 令達報告等
- 四 参考
- 五 作戦経過概要

(目次終)

0551

自昭和八年三月一日
至同年三月三十一日
第十特別根據地隊戰時日誌

一 概情勢

「ソロモン」群島方面「ガダルカナル」島敵防備ハ益々増強セラレ
現参約三ヶ師團ト判断セラレ

「ビルマ」方面敵ハ我軍ノ増援沮止並ニ「ビルマ」民衆ノ騷
擾ヲ目途トシ空襲並ニ潜水艦戦ヲ強化シツツアルモ陸上
軍ノ行動逐次不活滲トナリ動搖ノ徴アリ

歐洲方面独軍ハ東部戦線敗退後ノ戦線整理ニ努メ
隨所ニ及撃手ニ転ジツツアリ 赤軍ノ攻勢ハ逐次弱化
シツツアルモノ如シ

北河戦線独伊軍ハ戦線ノ整理頗勢ノ挽回ニ努メ戦

○ 況概不有利ニ進展シツアルモノ如シ
敵軍ノ情勢

太平洋方面潜水艦ニ依ル通商破壊戦ニ重點ヲ置キ昭南港東
口附近ニ於テモ本月ニ至リ初メテ其ノ姿ヲ現セリ

ガダルカナル島ヲ進攻作戰基地ヲラシムク目下人員機材ノ増強
ヲ行ヒツツアルハ注意ヲ要ス

印度洋方面「ビルマ」印度ニ対シ彼我互ニ空襲ヲ行フ外大
ナル作戰ノ展開ヲ見ズ

友軍ノ情勢
ビルマ方面ニ於ケル敵潜水艦ニ依ル被害ハ依然大ナリ
全般ノ大規模作戰ナシガダルカナル島撤収転進後ノ兵力整備
ヲ行ヒツツ次期作戰準備中ナリ

担任海域内昭南港附近初メテ敵潜水艦ノ出現ヲ見ル
發見ノ都度全兵力ヲ以テ掃蕩制壓シツツアリ

0553

警戒隊	海上	区分指揮官	兵力	主要任務
十	第			
	水上警備科			
	水路嚮導			

編成

- (1) 担任海城、防備警戒港務
- (2) 交通保護
- (3) 昭南附近水路泊地掃海
- (4) 南方々面味方通信中樞対敵通信
- (5) 補給治療
- (6) 所在陸軍ト連絡

當隊一部兵力ヲ以テ「タンヘラン」群島戡定作戰ヲ實施ス
 二 任務編成 配備

任務

陸上	警言成隊	掃海部隊	護衛隊	港務司	通信官
陸上警備科	各隊艦艇	指揮官	第十港務部	第十通信隊	陸上警備科
担任地域防備警言成	担任海域水路泊地掃海	直接間接護衛	交通保護	一、味方通信 二、敵方通信	担任地域防備警言成
担任海域掃海隊	第四十四掃海隊	第七號掃海艇	第四十四掃海隊 長沙丸 第七號掃海艇	第十通信隊	担任海域掃海隊

(1) 二月二十日以降嚴島指揮下ニ入り「ミリ」機雷敷設任務ニ従事中
 (2) 江ノ島「ペンケリ」防備衛所設營任務完了ニ指揮ヲ解カレ馬登言ニ
 復取ス
 (3) 二月二十日以降占守指揮下ニ入り護衛並ニ対潜掃蕩任務ニ従事中

0555

ニ進出「ミリ」方面対潜警戒ニ従事中

由二月十日以來「ラブア」ニ當隊通信基地ヲ設置

四配備

(一)「ミリ」ニ警戒艇一艘一乃至二及愛國丸護國丸飛行機隊(水

偵二機)ヲ配シ対潜警戒ニ任ズ

(二)昭南港東口西口ニ警戒艇一艘ヲ配シ対潜哨戒及水

路嚮導指示浮流機雷ノ監視處分ニ任ズ

(三)重要船舶出入港ニ際シテハ直接護衛ヲ附ス

ホ 作戰指導

當隊担任地区並ニ海面ノ防備警戒中昭南港及「ミリ」

附近ノ対潜警戒ニ重點ヲ置キ左ノ方針ニ依ル

(一)「ミリ」ニ対シテハ觸發機雷ヲ以テ防禦線ヲ構成スルト共ニ

哨戒艦艇警戒は、水陸郷導手ニ任セシメ且飛行機ヲ配ス
昭南港ニ対シテハ特ニ其東口附近ニ対潜警戒ヲ嚴ニス
之ガ為

(1) 所要ニ應ジ能ク限リノ兵力ヲ以テ掃蕩ヲ安身施ス

(2) 敵潜水艦ノ利用シ得ベキ島嶼ヲ掃蕩戡定ス

(3) 東口及西口ニ防備衛所設置ヲ促進ス

(4) 東口及西口ニ哨戒艦配シ警戒は、水陸郷導手ニ任セシム

(5) 要スル場合艦船ニ対シ直接護衛艦(艇)ヲ配ス

作戰實施

(1) 哨戒防備

載油泊地防備、為嚴島ヲ以テ對潜水艦用深々度機雷

敷設中(第一次係、第二次敷設終了、使用機雷九三式六〇個)

(2) 「イングリ」防備衛所

設置完了 設置兵器一式水中聴音機四九二式機雷七群連
(四十二個)

三) ヒロアイ、アヤハ、防備衛所

設置中

四) タンベラン群島戡定作戦

諸情報ヲ綜合スルニ敵ハタンベラン群島ヲ潜水艦補給見

張通信等基地ニ利用シツツアル疑濃厚ナルヲ以テ之ガ

戡定作戦ヲ實施セリ

四軍隊区分任務行動

護衛隊	主隊	區分	指揮官	兵力	主要任務
	1000		司令官	第七掃海艇	陸戦隊揚陸掩護
			呂	第四十四掃海隊	陸戦隊揚陸
				輸送船護衛	

陸 屬	陸 戰 隊	
水 警 分 隊 長	陸 警 官 科 長	44th 司 令
第 四 天 海	一ヶ中隊 (陸警各小隊)	(第二利丸 等小隊)
陸 戰 隊 輸 送 大 隊 二 隻 或 航	敵 陸 上 兵 力 擊 滅	陸 戰 隊 揚 陸 及 掩 護

(四) 實施經過ノ概要

順當ニ經過シ陸戰隊ハ無抵抗ニテ上陸成功ス敵利用ノ形跡ナシ

タンバン島ニ現住民約三〇〇アリ宣撫工作ヲ施シ撤退ス本群島艦隊泊地トシテ利用可能ト認ム

(五) 対潜掃蕩

(1) 土日〇八〇〇「ホース」灯台ノ一二〇度一五〇米ニ於テ「バンバン丸

0559c

雷撃ヲ受ク (糸射雷敷ニ被害ナシ)

十二日二〇〇右潜水艦掃蕩中ノ第七長運丸雷撃ヲ受ク

(糸射雷敷ニ被害ナシ)

本職第七號掃海艇ニ朱艦一雁 第四十四掃海隊水警科

船艇ヲ指揮シ若竹 香椎水偵一九三六空飛行機艦攻ニ機

ノ協力ヲ得掃蕩ニ任ズ捕捉撃滅スルニ至ラス

四月十三日二一四五北緯二度一分東経〇五度三七分ニ於テ帝

興丸雷撃ヲ受ク (糸射雷敷ニ被害ナシ)

本職占守ニ朱艦第七號掃海艇 第四十四掃海隊水警

科船艇香椎水偵一九三六空艦攻ニヲ指揮シ対潜掃

蕩ヲ實施ス 捕捉撃滅スルニ至ラス

六掃海

第四十四掃海隊ハ昭南々方海域掃海準備中

四 昭南港附近處分浮流棧筒数 五〇個

七 護衛

(一) 是柄昭南出入港時港口四〇哩圈内、護衛ヲ實施ス
(四) 浅間丸入港時香櫃及九三長重兩行棧ヲ以テ護衛ヲ實施ス

香櫃教練糸射ヲ陸海軍関係者高船高級船員見張
関係者ニ見学セシム (見学者總数約五〇名)

0561

自昭和七年四月一日
至同年四月三十日
第十特別根據地隊戰特日誌

一 経過

(イ) 一般情勢

當隊担任区域内ニ在リテハ敵水上艦艇及航空機ノ出現ハ之ヲ見カルモ潜水艦ノ跳梁漸次濃化傾向アリ

(ロ) 敵軍情勢

「ビルマ」方面ニ在リテハ依然執拗ナル敵機ハ蘭貢首爆續行カレ一方潜水艦ニ依ル通商破壊戦ハ太平洋印度洋両方面ニ且リ強化セラレツ、アリ

(ハ) 友軍情勢

概觀スルニ大々作戦ナク次期作戦準備中ナリ此間ニアリテ敵潜水艦出現ノ都度之ガ制圧撃滅ニ全力ヲ傾注

9563

シツアリ

(二) 任務 編成 配備

(一) 任務

(1) 担任海域防備警戒港務

(2) 交通保護

(3) 昭南附近水路泊地掃海

(4) 南方方面味方通信中枢対敵通信

(5) 補給治療

(6) 折在陸軍ト連絡

(二) 編成

海上第十特別警戒隊	區分	指揮官	兵	力	主要任務
根據地隊					
水上警戒備科					
水路嚮導					

0564

陸上司令官	陸上警戒隊	掃海部隊	護衛部	港務部	通信
陸上警戒備科	各隊	艦艇	指揮官	第十港務部	第十通信隊
担任区域防備警戒	第十四掃海隊	第七號掃海艇	第十四掃海隊長 沙丸	港務	味方通信
	担任区域水路泊地掃海		直接間接護衛		通信
			交通保護		

(1) 二月以降指揮下ニ入リシ嚴島ハ四月二日「ミリ」機雷敷設任務完了シ即日原隊ニ復歸ス

(2) 二月十日以降指揮下ニ入リシ占守ハ依然護衛並ニ對潛掃蕩任務ニ從事中

(3) 二月十五日以降指揮下ニ入リシ愛國丸護國丸飛行機隊ハ

0585

「ヨリ」方面対潜警戒任務を終了し四月三日原隊復隊ス

(三) 配備

(1) 主トシテ昭南軍港地域並ニ海域ニ兵力ヲ集結ス

(2) 「ヨリ」ニ警戒戒艦艇一ノ時トシテニ「ヨリ」派シ泊地、警戒戒水路嚮導

護衛通信連絡ニ任セシム

(3) 二月十日以降「ヨリ」ニ設置シアリタル通信基地ハ「ヨリ」泊地

機雷敷設完了ヲ待チテ四月三日撤收ス

(ホ) 作戦指導

(一) 當隊担任区域中昭南港ニ対スル防備警戒、万全ヲ期スルヲ

主眼トス

(二) 「ヨリ」泊地、対潜警戒ヲ嚴ニス

(三) 敵潜水艦ノ出現ニ対シテ之ガ撃手、滅掃蕩、即應態執力ヲ發ス

(ハ) 作戦實施

(一) 「三」防備

載油泊地「三」防備タテ育中旬以降作業中、対潜水艦用機雷敷設ハ三日第三次敷設ヲ以テ完了ス。摩本一艦艇ヲ派シ対潜警戒戒備道并連設警戒ヲ任ジツテアリ

(二) 掃海

(1) 四掃各艇及海兵警戒隊大發六隻(特トシテ二隻)ハ昭南港南方水路第一次掃海作業ヲ行フ。六日開始。十五日ヲ完了ス。拘束機雷ナシ

(三) 対潜水艦戦

(2) 昭南港附近浮流機雷處分數ニ三個

(1) 長沙丸ハ四日ハ「ベラム」灯台沖(四度五。分北二四度。分東)ニ於テ雷敷キ(三本乃至四本)ヲ受ケ不發。魚雷一本命中ス。一番ハラストタラシニ漏洩アリ(翌日發見)直砲(四發)爆

雷(三個)攻撃ヲ行フ效果不明

(2) 長沙丸五日二三五クチ沖(三度五分北二。度五分東)ニ於テ雷敷(二本)ヲ受ケ不發奥雷一本後部艦底ニ命中セシモ被害ナシ直三砲(八發)爆雷六個攻撃ヲ行フ效果

不明

(3) 長沙丸六日〇八五四クチ沖(ホラ角三四度二五運)ニ於テ敵潜水鏡ヲ發見ス直三砲(三發)爆雷(八筒)攻撃ヲ行フ

(4) 以上連、長沙丸、対潜水艦戦ニ即應シ掃セラシテ現場及「ミ」沖(帯)索敵掃蕩ニ任セシム占弁ラシテ昭南港東方海面掃蕩並ニ長沙丸、警戒ニ當ラシム

索敵掃蕩ニ九三六空艦攻ニ機及香椎機、協力ス
(5) 御堂山丸十五日二三八クチ(三度五分北二。度

0568

三五分東)ニ於テ浮上潜水艦ヲ認ム九三六空機索敵セルモ敵情ヲ得ズ

(6) 陸軍大竜丸八十九日(。。。)フロレンゴール附近(四度五十分北 一三度三五分東)ニ於テ雷撃ヲ受ケタルモ被害ナシ直チニ九三六空機索敵及ヒ占弁大竜丸護衛ヲ手配ス

(7) 山里丸(初鷹護衛)ニ三日。八五「フロバダン」島沖(三度二分北九九度四分東)ニ於テ雷撃ヲ受ケ沈没セリト報ニ接シ占弁ヲ急派敵潜攻撃ニ関シ彼南根據地部隊ニカ協力セシム

(四) 防備衛所設置作業

「ピアイ」「アヤム」防備衛所設置中

(五) 沈船引揚作業及引揚船整備作業

(1) 三月三十日以降第十港務部ニ於テ施行中「グレットカリ」

島北西岸、沈船曳船「ナガ」號（五〇屯）引揚作業

完了十日曳船投ス

(2) 第八回航班ハ引續キ平戸丸（千屯）又第十回航班ハ

四月一日ヨリ樽巻丸（一万屯）整備作業ヲ施行中

(六) 護衛警戒

(1) 占弁八日侍従武官搭乘機警戒ニ任ズ

(2) 掃七十一日照川丸日鉄丸ヲスロケケル島附近ヨリ「ミリ」

近護衛在泊中警戒ニ任ズ

(3) 掃七十四日「サニヤック」行照川丸日鉄丸ヲ護衛十五日分

離シ更ニ武津丸ヲ護衛十六日「ミリ」着同地警戒ニ任ズ

(4) 占弁八日「ホスバ」灯台「ミナ」湊沖ヨリ大竜丸ヲ同灯

台近護衛ス

ニ人員ノ現狀

別表第二

昭和十八年四月 昭南軍艦隊 掃海隊

利丸 第二利丸 第三長運丸 第六長運丸

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	
昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港	昭南商港
長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸	長沙丸
掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇	掃海七艇

0571

別表第三

作戰經過概要要略和十八年首第十特別根據地隊

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	三十
南																														
昭																														
隊 艦 遠 南 一 第																														
衛 護 送 輸 海 掃 地 泊 及 路 水 或 警 備 防 一 面 海 任 担 軍 海																														
一般任務																														
主要行動																														
主要作業																														
記 事																														

丁巳水道掃海開始

日章丸潛望鏡

日章丸

自昭和十八年八月一日
至同日
一 経過

第十特別根據地隊戦時日誌

一 敵情

○是日國境ニ於ケル敵米英支軍ハ次第ニ増勢
セラレツツアルモノノ如ク月末アキヤブレニ大舉突
襲ヲ試ミタリ

印度洋方面ノ敵艦船ノ動靜若シテ
西部方面未襲ノ氣運濃厚ナリ

當隊担任海域ニ於テハ近來飛行機潜水艦ノ
出現ヲ見ザルモ東西両方面隣接海域ニハ其ノ
出現頻々トシ次第ニ當方面未攻ノ氣既強シ
我が軍ノ情勢

C576

西方第一線ノ防備強化航空兵力ノ增強着々
進行中ナリ

當隊ハ防空對潛警戒ヲ嚴シク防備衛所ノ
完成防空壕新設勵行中ナリ

三) 作戰指導

四) 二日。四三。北緯五度八分東經二三度五九分ニ
於テ山幸丸敵潛水艦ヲ認ム敵設艇一號全
四號及ヨブアンニ水偵ニ攻撃ヲ下令スルト共ニ
ヨミクニ発炮南歸投中ノ七長運ヲシテヨサン
ジヤックヨリヨミクニ向ケ船固ト會合ヨリシ迄護
衛同泊地ノ警戒戒ニ任セシム

四) 十九日。九五。獨船ヨトウニ北南ヨリ彼南ニ回航中
ボワイトロツクニ燈台ノニニ九度五澤ニ於テ敵潛ノ

雷撃手(三本)ヲ受テ被害ナシ
 九特根ハ初撃及長沙丸ヲ又ガ掃蕩ノ為氷
 遣スルト共ニ當隊ニ協力ヲ依頼シ来レルニ依リ
 二十一日第七長連丸二十二日利丸ヲ急派掃蕩ニ
 協力セシム
 長沙丸ハ二十日八二〇北緯五度九分東経一〇
 度。分ニ於テ敵艦ノ雷撃ヲ受ケ沈没ス
 下士官兵五名戦死及行方不明(戦死認定)
 彼南行新玉丸ヲ行第八大源丸八雲丸ヲ
 カラシ水道ニ避泊セシム

057 8

05 3

三

九

0579

18

第十特別根據地隊戰時日誌

自昭和十八年九月一日
至昭和十八年九月三十日

海軍武功調査部長殿

十月九日送付

所	所
管	屬
第	南
一	遣
戰	艦
部	隊
隊	隊

18.11.15
接受

0580

- 一 終 過
- 二 人員ノ現狀
- 三 令達報告等
- 四 参 考
 - 一 戰 訓
 - 二 寫 真
- 五 作戰經過概要

目次

(目次終)

0581

自昭和十八年九月一日
至昭和十八年九月三十日
第十特別根據地隊戰時日誌
一 經過

敵情

コロモンゴリア方面敵ノ反攻ハ極メテ積極
的ニシテ更ニ新作戰遂行ノ氣配アリ
印度洋方面雨期明ヲ前ニ敵ノ反攻陣容
整備進捗シツアルモノ如ク伊ロドリオレ政
權ノ脱落ニ伴ヒ反攻氣勢濃化シアリ
南西支那方面重慶軍ノ動キ亦活潑ナルモノ
ノ如シ
又攻氣勢濃化ト共ニ諜報謀略志澆化シアルヲ
思ハシム

當隊担任区域ニ於テハ敵潛ノ出現彼南方方面
ニ回テ南支那海方面一面ノ外敵飛行機ノ片
影ヲ見ガリシモ下旬昭南商港ニ於テ陸軍
船六隻敵ノ謀略ニ依リ遭難セリ

我が軍ノ情況

印度洋方面急速防備強化ニ努メ地上及
航空兵力ノ増強戰備ノ充實ハ着々進捗
シツニアリ一方敵謀略ニ對シ嚴重警戒中ナリ

作戰指導

(一) 九月九日伊太利無條降伏ノ報アリ今ニ依リ
在泊伊潜水艦「アキラ」三號及六號ニ對シ昭南
在勤武官ト協力左ノ通り處置ス
(二) 無線空中線及砲尾栓ヲ撤收ス

0583

(11) ✓ (12)

(12) 乘員全部ヲ陸上ニ收容ス

(13) 警戒兵ヲ派遣シ第四十四掃海隊司令
指揮ノ下ニ監視警戒ヲ任ズ

(4) 彈火藥燃料等ヲ逐次陸揚ス

九月六日ヨ四五永興丸ヲクンヅ島西南四五哩ニ
於テ雷撃(三)ヲ受ク被害ナシ

第六長運丸ヲ一時彼南警戒備部隊ニ加ヘ対
潜掃蕩ニ協力セシム

前項永興丸ノ被雷撃地点ニ急行中ノ第
六長運丸ハ九月二五ヨハツツ岬ノ三〇度
六哩ニ於テ雷撃(二)ヲ受ク被害ナシ

總著特入ヲ一時彼南警戒備部隊ニ加ヘ各方
面ニ急行対潜掃蕩ニ協力セシム

0584

(三)

九月十五日音津潜水艦アキハ三號初雁島警戒
ノ下ニカバシヨリ昭南軍港着十六日昭南在
勤武官ト協力左ノ通處置ス

11) 乗員全部ヲ蒙ノアキハ三號及六號ト共ニ

陸軍側ニ引渡ス

(二)

警戒兵ヲ派シ監視警戒ニ任ズ

香推ヲ右作業ノ為陸戦隊五十名派遣

セラレ本職ノ指揮下ニ入ル

二十日アキハ三號及六號ヲ軍港ニ回航アキハ

第三號ヲ併セ港務部長文が保管警戒ニ

任ズ

(一)

三三日三四五辰和丸四度五分北緯一〇五度
五分東経ニ於テ雷撃三ヲ受テ被雷ナシ

0585

四十四掃(七長運ニ刺)及駆潜特ニ駆潜特八四十
 四掃司令指揮ノ下ニ二十四日未明昭南砲
 三五日〇九〇〇現場着九三六空機ト協力索
 敵掃蕩ニ任ズ 敵情ヲ得ズ三十日〇六〇掃蕩ヲ
 打切ル

ハ) 三七日〇四〇〇ヨリ〇二〇ニ亘リ商港ニ於テA船
 六隻遭難ス取調ノ結果時限爆薬ヲ磁性ニ
 外舷ニ装着セル謀略ト推定ス
 總舟艇ヲ以テ昭南主水路一帯ノ警戒戒小
 舟艇ノ臨檢ヲ実施ス

- ニ人
- 一 人員ノ現狀
- 一 第十特別根據地隊
- 一 職員官氏名

職	主	務	官	氏	名	託	事
司令官			少將	山口	儀三朗		
附(業務)	交通	保護	大佐	細谷	義男		
參謀長	首席參謀	作戰(一般)	中佐	齋藤	忠康		
主計長	主計長	第七分隊長	主中佐	安齋	茂一郎		
軍醫長	軍醫長	第六分隊長	馬少佐	坪田	繁樹		
參謀	機關運輸施設	補給	大尉	金子	定吉		
副官	副官		同	川村	喜一		
分隊長	第一三分隊長	陸軍科長	同	宇都	源右三門		
同	第四五分隊長	機務科長	同	上	游基		
附	參謀	補佐	同	田川	重夫		
同	第六分隊長	士	大尉	多賀	薫		
同	第三分隊長	職務執行	中尉	石河	彌作		

0587

五、作戰經過概要 昭和十八年九月 第十特別根據地隊

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
所	在	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
氣象	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
風向	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南
風速	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6
湿度	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
隊別	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊
任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務
特別任務																				

特別任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務	第一般任務
主要行動	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業	主要作業
記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事

